

## 市民まちづくり会議・むさしの 2018年度第3回定例会記録

日 時：2018年 11月9日（金）19：00～21：30

場 所：吉祥寺 商工会館3階 消費生活センター講義室

出席者（敬称略）：内門、河田、中島、長谷川、梅川、青木、竹山、田中、南、篠原、高田、村井  
（計12名）

### ◆ プログラム【配布資料】 ※レジュメ順

1. 外環関係
2. 景観まちづくりの手引き勉強会スケジュール
3. 古民家ウォッチングスケジュール
4. 緑の基本計画の見直し関係
5. 三鷹駅北口関係
6. プレイス西通り関係
7. 暮らしフェスタ 2018 関係
8. 映画「ケアニン」上映会
9. その他

#### 1. 外環関係

##### 1) 外環地上部街路話し合いの会編集会議（村井）

- ・10/25に第27回中間まとめ編集会議の作業部会を行った。次回は11/27の予定。
- ・現在、行政の発言抜きの記事録まとめとなっているため、話し合いの会再開に向けた課題や宿題についての編集が難航している。
- ・構成委員の中村さんが市外に引っ越すことになったが、編集会議構成員は続ける。

##### 2) 外環本線関係（青木）

- ・1/25（金）に協議会の学習会を開催する。テーマは、「野川の気泡について」で、講師は調布の菊川春代氏。

#### 2. 景観まちづくりの手引き勉強会スケジュール（南）

- ・まちづくり推進課が11/17に景観まちづくり講座を企画している。（当会HP）今年の市の取り組みは、これだけなので、当会の勉強会を1～3月頃に企画する。
- ・景観の誘導のためのルールをまちづくり条例に組み込んだため、悪化を食い止めることは出来ても、良くすることは出来ない。
- ・市民向けの冊子である「景観まちづくりの手引き」を活用する必要がある。
- ・マイナス景観である「ごみ」は減少、電線はオリンピックに向けて地中化の動きがあるが、看板は問題だ。
- ・大きな看板だけでなく、警察の設置している交通ルール徹底や防犯のための喚起看板、捨て看板なども問題だ。
- ・商店街では、路上の置き看板の指導を強化しており、警察が指導している。

### 3. 古民家ウォッチングスケジュール

- ・担当の山田氏が欠席のため報告なし。

### 4. 緑の基本計画の見直し関係

#### 1) 境山野緑地の保全・再生の動向について(田中)

- ・武蔵野の森を育てる会の活動が、生物多様性アクション大賞(国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J))の「守ろう」部門で、入賞した。都市の住宅街における武蔵野の雑木林の保全活動が評価されたもの。

#### 2) 雑木林バス見学会の報告(田中)

- ・11/4に実施した都立小宮公園(八王子市)と西原自然公園(西東京市)を見学。4団体の共催で参加は22名だった。雑木林の多様な若返りの姿が実感できた。

#### [意見交換]

- ・雑木林の保全では、生物多様性の課題が重要。
- ・目的は同じでもアプローチ(手法)は多様だ。
- ・境山野緑地では、裸地化率が生物多様性の指標になるのではないかと。数値化は説得力がある。
- ・境山野緑地は、継続した(生物)調査を実施している。雑木林に固有の生き物が生息しているものの、他の雑木林と比較して、個体数も種数も少ない。草地では管理の仕方により、バッタが増えた。

#### 3) 緑の基本計画改訂について(田中)

第6回委員会の資料(配布)を見ながら、雑木林(境山野緑地)の保全や育成に関連したポイントを確認した。

- ・連続シンポジウムの提言資料を委員に送付してもらったが、委員会では話題にならなかった。

#### [パブコメについて]

- ・12/1から22日までパブコメ募集がある。当会からも意見を出したい。
- ・生物多様性を前面に出した意見書が良いのではないかと。
- ・運営や意見聴取については委員会により差がある。市全体で統一すべき。

#### 4) 武蔵野の森を育てる会の活動(田中)

- ・11/19にシンポジウムの報告と挨拶も兼ねて、二小ゾーンの萌芽更新について、みどりのまち推進課と打合せを行う。当会からは、田中、村井が行く予定。
- ・二小ゾーンの萌芽更新は、子どもたちやPTAが参加する環境教育として進める。

#### 5) 「くらしフェスタむさしの2018」(議題7)の報告(内門、田中)

- ・天気が良すぎて来場者はあまり多くなかったが、田中氏の話も含め雑木林に対する関心は高かった。青空市でパネルの二次展示を行う。
- ・当会の展示資料(武蔵野市の雑木林の現状と課題)は評判が良い。各方面に抜刷りを配布する。

### 5. 三鷹駅北口関係(高田)

- ・東急ストア裏の開発については、住友不動産の担当課長が変わり、市民案を提案する方向になった。今後、2、3か月おきに住友不動産と話し合う。東急ストアの動く時に補助幹線道路の整備も進む。そのときがカギだ。

- ・住友不動産は北口一帯の土地を買っており、駅前開発をする可能性がある。市とコラボができるとよい。
- ・タワーズマルシェに賑わいが出てきた。駅前が少しずつ動き始めた。
- ・玉川上水沿いの花屋とソバ屋が撤去されたあとに、花屋が2階立てに再建築されて、がっかりした。

## 6. プレイス西通り関係（中島）

### 1) 西通りの都市計画廃止

- ・西通りの都市計画廃止（武蔵野市初）は決定しているが、時期は未定。

### 2) プレイス北広場の芝生問題

- ・芝生広場は、子どもの遊び場とイベント会場の矛盾した要望があることと、年間の維持費が400~500万円かかることから見直しを検討中で、方向性はまだ決まっていない。
- ・土のままや野芝などを比較して選ぶが、人工芝は環境汚染となるから使わない。

### 3) プレイスの地下駐車場

- ・地下駐車場は28台中2台程度の利用。地下は管理人が常駐している。
- ・車は減り駐車場が増え、国も過剰駐車場の縮小に乗り出している。市長判断で縮小は可能だ。
- ・課題は、都の安全条例で、駐車場と利用区域の間を準防火の壁で仕切るため利用負担が必要であるが、市も同じ方向の意見である。
- ・身障者と業務用に5~7台を確保すると500~800㎡のスペースがある。
- ・今後の利用目的として、駐輪場は難しい。
- ・図書館機能の充実策として、廃棄図書の間置場や、増えてゆく蔵書の書庫としての活用が考えられる。
- ・中央図書館も蔵書庫が限界に近い。歴史的資料の保管場所など市に意見書を出す予定。

### 4) 今後の課題

- ・市内の都市計画道路は、見直しが必要。昭和初めの計画で不要なものを選択する。
- ・西通りの会はまちづくり会議とは別のスタンス（原理主義）で、ハードルを下げない活動する。

## 7. くらしフェスタ 2018 関係（議題4で報告）

### 8. 映画「ケアニン」上映会の報告（長谷川）

「ケアニン」上映会を関前コミセン、八幡町コミセンと共催で10/27に行い、50名の来場があった。

- ・拍手や涙する人たちなどの反響があり、良い映画だった。いずれは、社協の「七夕の会」で上映できるとよい。
- ・課題は、レンタル費用（約50,000円）で、上映には企業のバックアップや行政の支援が必要だ。
- ・西部コミセンや西久保コミセンからもオファーがある。コミセンでは、無料で行いたい。年度初めに企画すれば予算が組めるのではないか。
- ・三鷹の連雀映画祭やクラウドファンディングで資金を集めるパルコ地下の映画館計画などを参考にしているかどうか。

- ・教育委員会生涯学習スポーツ課の補助金は最大 50 万円で、市民社協は小さな団体の活動に補助金を出している。
- ・試写会をやれると、良い映画の内容が伝えられ、広められる。

#### 9. その他（様々な話題提供）

- ・ふるさと歴史館は、将来、倉庫が必要になる。
- ・観音院の借地の地代値上げの動きがあり、商店の存続が危機になっている。
- ・吉祥寺では、三つのお寺が地代で協定を結んでいるようだ。
- ・吉祥寺の売り上げ減少の原因は、買い物がネット販売に移行しているからだ。

以上/文責:村井